

市議会臨時会

平成24年第2回常陸大宮市議会臨時会が8月10日に開催され、正副議長の選挙及び各常任委員会の委員並びに監査委員の選任が行われました。

議長・副議長

議長

岡崎 榮一

副議長

武石 寿長



監査委員

川上 博

各常任委員会委員の構成

総務常任委員会 (8人)

委員長 田沢 祐男
副委員長 大貫 道夫
委員 仲田 好一

金子 卓
小橋 輝夫
秋山 信夫
掛札 行雄
野上台一

文教福祉常任委員会 (7人)

委員長 小森敬太郎
副委員長 小森 敏雄
委員 淀川 茂樹

内田 勝廣
高村 和郎
武石 寿長
萩野谷 勉

経済建設常任委員会 (7人)

委員長 吉川 美保
副委員長 柏 宏明
委員 堀江 鶴治

木村 勝昭
木村久美子
岡崎 榮一
川上 博

議会広報常任委員会 (8人)

委員長 木村久美子
副委員長 萩野谷 勉
委員 川上 博

田沢 祐男
吉川 美保
小森敬太郎
柏 宏明
大貫 道夫



議会運営委員会

委員長 内田 勝廣
副委員長 吉川 美保
委員 仲田 好一

木村久美子
高村 和郎
田沢 祐男
小森敬太郎

(敬称略)



茨城県スポーツ少年団 軟式野球大会開催

7月28日、29日、8月4日の3日間、第29回茨城県スポーツ少年団軟式野球大会が大宮運動公園や西部総合公園、山方運動公園で開催されました。

本大会が常陸大宮市で開催されるのは初めてのことです。県内各ブロックの予選を経て選出された32チームに開催地代表として市内の大賀ドリームを加えた計33チームが出場し、熱戦を繰り上げました。



「おもしろ理科先生」が やってきました

8月4日、「おもしろ理科先生・電気パンをつくろう」が図書館で開催されました。

講師の飛田隆久先生が、電気の種類や流れ方について説明した後、参加した20人の親子は電気パン作りに挑戦しました。持参した牛乳パックに生地を流し込み、そこへステンレス板を刺し電極をつなぐと、数十分後にはふくらとしたパンが完成しました。

参加者からは「また作ってみたい。どうやったら家でも作れるか」といった質問が出て、理科への興味・関心を高めた様子でした。



ふるさと探検隊開催

8月8日、「ふるさと探検隊」が実施されました。これは地域の将来を担う子どもたちが、農業体験等を通じて地域への愛着や農村が有する大切な役割について学んでもらうことを目的として行われたもので、全3回のうち、今回が1回目です。市内の小学生及び保護者89人が参加し、水路の生き物調査やそば・大根の種まきを行いました。

最初は恐る恐る水路に入っていた子どもたちでしたが、メダカやドジョウ、カワニナやシジミなどを見つけると、歓声を上げながら捕まえていました。

参加した児童は、「水路の底をよく観察すると、いろんな生き物がいてとても楽しい」と、うれしそうに話してくれました。畑では、地元農家の協力を得ながら秋に収



穫するそばと大根の種まきを、行いました。

次回は10月に実施予定です。



▲捕まえた生き物を早速本で調べています

道路のごみ拾いを実施

8月10日、茨城県常陸大宮土木事務所及び茨城県建設業協会常陸大宮支部は、市内の国道118号や近隣の主要道路において、空き缶やごみ拾い等道路清掃活動を実施しました。これは、「道路ふれあい月間」と「道の日」に合わせ、道路の正しい利用の啓発や道路愛護思想の普及などを目的として行われました。

土木事務所職員や建設業協会の会員併せて約100人が参加し、回収された可燃ごみや資源ごみは合計約230kgになりました。参加者からは「普段何気なく利用している道路も、自分たちで清掃することで愛着がわいてくる。この活

動が道路愛護思想の普及につながればうれしい」といった感想が寄せられました。



～農林課からのお知らせ～

農用区域内に 自己住宅等の建築をお考えの方へ

常陸大宮農業振興地域整備計画の見直し作業に伴い、農業振興地域除外の申請受付が制限されます。

協議会開催月	申請書受付期限
11月	10月31日

※受付再開は平成25年6月からの予定です。
※詳しくは9月25日発行のお知らせ版に掲載しています。

平成24年度常陸大宮市子ども会 育成連絡協議会事業報告⑪

8月4日 子ども会球技大会（ティーボール）
～緒川運動公園～

市子連各支部の代表13チームが出場しました。厳しい暑さのなか、子どもたちは保護者の声援に応えようと、元気いっぱいにプレーし、よい触れ合いの場となりました。

優勝 天王子ども会（大宮小学校支部）
準優勝 抽ヶ台子ども会（大宮西小学校支部）
第3位 盛隆子ども会（山方小学校支部）
第4位 石沢子ども会（村田小学校支部）



▲優勝した天王子ども会の皆さん



「ふるさと探検隊」に参加して



茨城大学人文学部
社会科学科 4年
佐藤ひとみさん

子どもたちに体験を通じて農村に関心を持ってもらうことを目的に、「ふるさと探検隊（全3回）」の初回が8月8日に開催され、私たち茨城大生は子どもたちのお世話役として参加しました。

様々な活動を通じて常陸大宮市を身近な地域と感じる学生が増えたせいか、今回は教員を目指す学生を中心に、1年生から4年生までの大勢の学生が参加しました。

今回の体験内容は、水路での生き物調査や地元の方が栽培したトウモロコシの収穫体験、秋に収穫するそばと大根の種まきをしました。私たち学生も地元の方と一緒に、そばと大根が無事に収穫できるよう協力しています。

今後、ふるさと探検隊に参加した子どもたちに、自分たちのふるさとについて考える時間を設けると、さらに深く考えるきっかけになるのではないかと感じました。

知って得する 消費者情報③

高齢者を悪質商法から守りましょう

高齢者が悪質商法の被害に遭うケースが増えています。悪質な業者は、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を狙って近付きます。そして、言葉巧みに高齢者の寂しさに付け込んだり、健康・お金などの話で不安をあおったりし、親切を装い信用を得てから、高額な商品や金融取引の契約をさせようとします。ご家族や地域の方は、高齢者の日常生活で何か変わったことはないか、日頃から気を配るようにしましょう。

ケース1 点検商法

「点検に来ました」と訪問して、「水が汚れている」、「布団にダニがいる」、「屋根瓦がずれている」などと言って不安にさせて、浄水器や布団、リフォーム工事などの商品・サービスの契約を勧めるという訪問販売です。

- ・突然、見ず知らずの業者が「点検に来た」と訪問した時は、点検商法の可能性が高いので注意が必要です。
- ・トラブルに遭わないためには、きっぱり断ることが重要です。販売目的を告げずに訪問してきた業者には注意が必要です。できれば玄関のドアを開けずにインターホンやドア越しのほうが断りやすく、安全です。

ケース2 怪しい出資話

「出資をすればお金がどんどん増える」などと言う、業者のうまい話を信じて契約し出資したが、「配当金がない」、「出資金が返還されない」など、業者の倒産や逮捕により被害に気付くケースが多いようです。このような状態になると、業者にはほとんど資金が残されていないため、消費者に出資金が返還される可能性は低くなります。

- ・「高配当」をうたう、出資を勧誘された場合は、業者の信用性や出資の内容について、少しでも不明・不安な点があれば、あいまいな返事をせずに、はっきりと断ることが大切です。
- ・怪しい出資やうすぎるもうけ話には十分注意しましょう。

困った時は消費生活センターにご相談ください。

■茨城県消費生活センター

☎029-225-6445

■常陸大宮市消費生活センター

☎52-2185（直通）（本庁商工観光課内）